

実施内容報告書

支援先施設	公立相馬総合病院	実施分野	認知症看護
認定看護師	佐川 奈美子	所属施設	福島赤十字病院

目 標

- ①認知症の理解を深め、認知症患者の個別性を考慮した対応を考えることができる
 ②身体抑制を第1選択とせず、認知症患者の視点に立ってケアを考え実践できる

実施内容

回数 訪問日	実施内容	研修会テーマ	①支援内容 ②アンケートの意見等
第1回 7/24 (月)	・打合せ ・研修会 ・研修会内容に関する質疑・応答 ・事例検討(患者情報、問題点共有) ・病棟ラウンド、振り返り	「認知症とは 認知症の人の理解を深めよう」 参加数:6名	①認知症の人の理解が深められるよう、認知症の人の視点に立って言動の意味や対応方法を考えることが極めて重要であり、そのことが認知症の人の個別性のあるケアに繋がる ②認知症患者の視点に立ち考えることが重要であり、寄り添うことで個人の苦悩を知り、そこから尊厳のあるケアに繋がることがわかった。わかりやすくすぐ実践できる内容だった
第2回 10/5 (月)	・打合せ ・研修会 ・研修会内容に関する質疑・応答 ・事例検討(患者情報、問題点共有) ・病棟ラウンド、振り返り	「せん妄ケア」 参加数:8名	①せん妄を発症することで患者の予後に与える影響、せん妄が引き起こされる原因と認知症の原因の違い、せん妄の発症因子、アセスメント、対応・ケアについて ②せん妄の理解を深めることができ、学んだことを実践に繋げていこうと思う
第3回 10/23 (月)	・打合せ ・研修会 ・研修会内容に関する質疑・応答 ・事例検討(患者情報、問題点共有) ・病棟ラウンド、振り返り	「身体拘束を見直そう ～患者の安全と尊厳を守るには～」 参加数:5名	①身体拘束にあたる内容や弊害、身体拘束を実施する理由等について講義し、身体拘束を行うことが患者の安全・安心にはつながらないことを再確認。身体拘束回避のため看護師として行うべきアセスメントやケア内容について ②周りのスタッフを巻き込んで認知症患者への対応を検討し、抑制のない看護を目指していきたい
第4回 11/2 (水)	・リモート研修 ・研修内容に関する質疑・応答	「認知症ケアにおけるコミュニケーション」 参加数:4名	①援助者の態度や姿勢を振り返ることの必要性、認知症の“人”が抱える障害、その人らしさを理解し、認知症の人の立場に立った負担の少ない印象の良いコミュニケーションについて ②認知症だから、という考えをなくし、個々に合わせたコミュニケーションを実践していきたい
第5回 11/16 (木)	・打合せ ・研修会 ・研修会内容に関する質疑・応答 ・事例検討(患者情報、問題点共有) ・病棟ラウンド、振り返り	「認知症ケア加算について」 参加数:7名	①認知症ケア加算の目的、看護師の頑張りを評価しているものであること、認知症ケア加算1、2、3の算定要件・施設基準について、自施設の例も踏まえながら説明 ②加算の理解を深めることができ、自分たちが行うべきことが理解できた。カンファレンスを行いケアに繋げ、認知症高齢者が安心して過ごせるようにしていきたい